

## 協働パイロット事業（H27）企画提案書

団体名：パソコンわかばくらぶ

## 1 事業の名称

障がい者が活躍する市民活動広報誌づくり  
～クラウドファンディングの利活用を目指して～

## 2 事業の概要（市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください）

本事業は、課題テーマ「障がい者の工賃向上に寄与する取組みの企画及び実施」に対し「障がい者の参加できる業務の創出を目指した市民活動広報誌の製作」を提案する。

内容 市民活動に関する広報誌の製作及びポスティングを通して、障がい者も参加できる業務の創出を目指す。費用はクラウドファンディングを利用して調達し、クラウドファンディングを活用した市民活動のモデルを標榜する。（広報誌のイメージは、静岡市の広報誌のイベント告知。）

背景 ①障がい者を取り巻く環境：限られた業務内容、限られた工賃  
②市民活動団体の抱える課題：広報力不足、資金力不足（資金調達のノウハウ不足）  
③静岡市におけるクラウドファンディングの現状：認知不足、FAAVO 静岡の実績1件  
※FAAVO 静岡とは、「出身地と出身者をつなぐ」ことをコンセプトとした「地域×クラウドファンディング」。静岡県では静岡新聞社が昨年6月より運営している。  
(URL <https://faavo.jp/shizuoka>)  
②及び③については「第3次静岡市市民活動促進基本計画」の重点ポイントにも挙げられている。（【施策の柱】「知らせる」(1)市民活動に関する広報の強化、(4)支援者（寄附者）の増加、「深める」(2)ファンドレイジングを活用し、マネジメント能力を向上）

目的 ①障がい者の参加できる業務の創出  
・ITスキルを活用した広報誌づくり  
・広報誌のポスティング  
②市民活動団体への広報ツールの提供  
・活動やイベントのお知らせ  
・会員募集  
③クラウドファンディングの活用  
・クラウドファンディングの認知度向上  
・ノウハウの蓄積（行政）  
・普及への足掛かり

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

障害者福祉課：ポスティング業務を行える事業者の募集及び調整

市民活動センター：広報誌の内容及び掲載に関するルール作り

クラウドファンディング運営者との打ち合わせ

掲載希望団体の募集及び調整

パソコンわかばくらぶ：広報誌づくり

<事業のフロー>

(資金調達) クラウドファンディング運営会社 (FAAVO 静岡)

支援の呼び掛け

↑ ↓  
市民

支援金

(情報の掌握)

市民活動センター

広報誌掲載情報

(市民自治推進係)

↑ ↓

掲載希望団体の募集

市民活動団体

(広報誌製作)

入稿

校正依頼

パソコンわかばくらぶ

(フリーダム)

(印刷)

印刷会社

(配布)

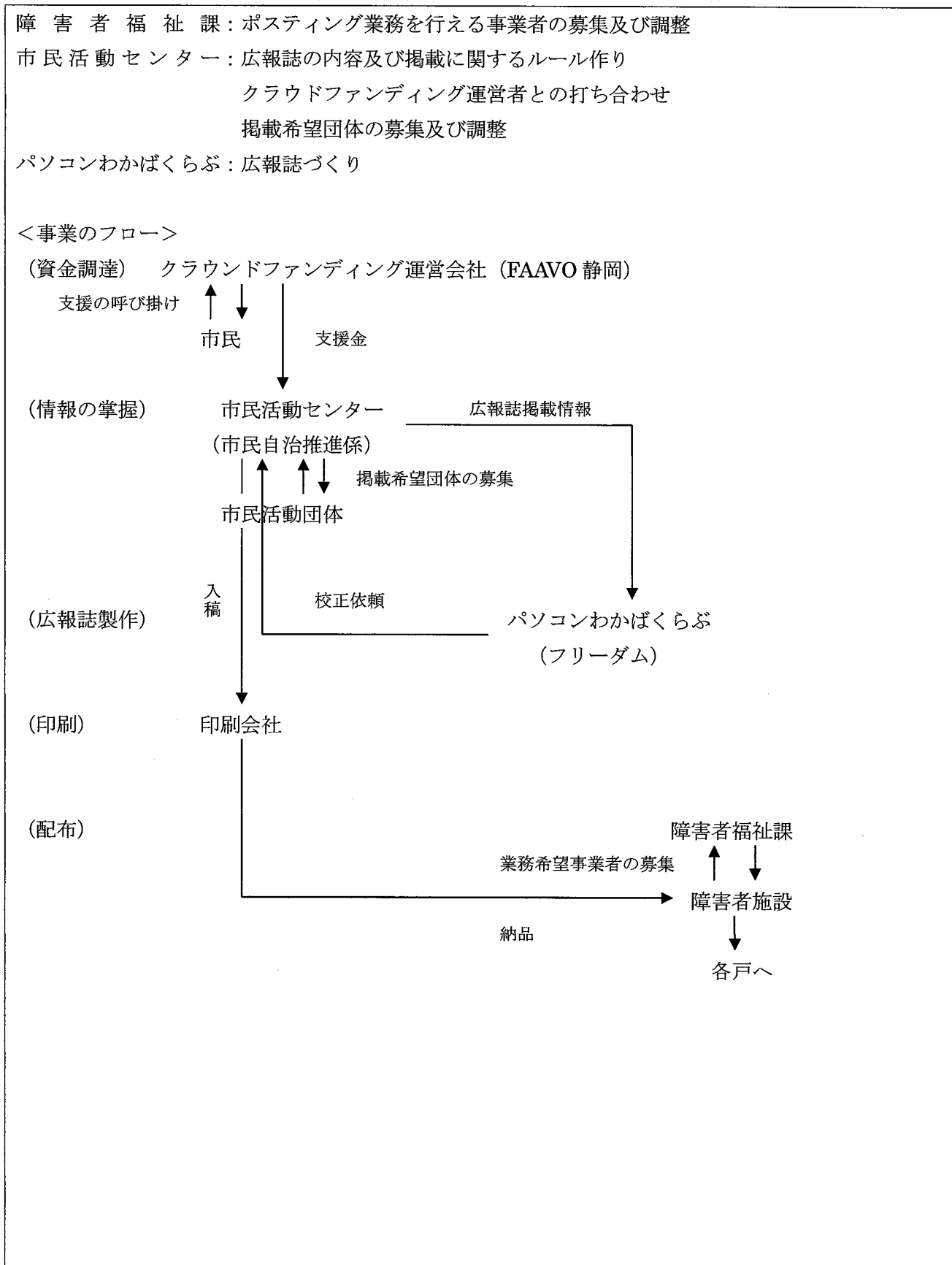
障害者福祉課

↑ ↓  
業務希望事業者の募集

障害者施設

↓  
各戸へ

納品



4 事業計画・実施スケジュール

7月 広報誌内容及び掲載に関するルール作り  
クラウドファンディング運営者との打ち合わせ

9月 資金調達（2ヶ月程度）  
市民活動団体への呼び掛け（プロジェクト支援）

11月 市民活動団体への呼び掛け（掲載希望団体）  
掲載団体の調整

12月 広報誌製作

1月 広報誌完成  
ポスティング 葵区 @2,000部×5施設（350部／半日、2人／組）  
駿河区 @2,000部×4施設（350部／半日、2人／組）

2月 プロジェクトの報告  
サンクスカードの発送

<広報誌（表面）イメージ>

障がい者施設からの お知らせ（3列×6段）	タイトル
	趣旨の説明
クラウドファンディング について（2段）	市民活動センターからの お知らせ

<広報誌（中面）イメージ>

市民活動団体からの お知らせ （3列×8段程度）	市民活動団体からの お知らせ （3列×8段程度）
--------------------------------	--------------------------------

団体名：パソコンわかばくらぶ

## 5 実施体制及び主要スタッフの経歴

### ①小林里加（パソコンわかばくらぶ）：

静岡県立大学大学院経営情報学研究科在学中にパソコンわかばくらぶを設立。主に高齢者を対象にした講座の企画・運営、ボランティアの調整を担当する。平成23年度静岡市協働パイロット事業「障がい者を活用した学校ネットパトロール事業～就労移行支援プログラムとしての可能性を探る～」を受託。同事業は平成24年度「ICT夢コンテスト（地域部門）」にて文部科学大臣賞を受賞。

### ②就労移行支援施設 フリーダム利用者

日本語ワープロ及び情報処理技能検定3級（日本情報処理検定協会）レベル以上の者  
フリーペーパー・ポスティング業務経験者

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

①複数の課題を組み合わせ、問題解決を試みる点

障がい者の課題は工賃の向上、市民活動団体の課題は広報力不足、資金力不足である。そして市民活動を支える市民活動センターは市民活動団体の抱える課題を克服するだけの情報発信力や資金調達のノウハウを持っていないのが現状である。

そこで、本事業ではそれぞれが直面している課題を組み合わせることで問題解決を試み、一つの事業で複数の成果を目指す。

②クラウドファンディングの可能性

1)波及効果

昨年6月より FAAVO 静岡の運営が始まっているが、プロジェクトは未だ4件である。試験的な試みではあるが、本事業がクラウドファンディングの事例として成功すれば、クラウドファンディングの認知度が増し、今後の普及が期待できる。

2)自立した運営

クラウドファンディングは初期費用の調達には適しているが、継続的な支援を求めるのは難しいと考える。そこで、クラウドファンディングの本来の活用方法とは異なるが、集金の仕組みとして疑似活用する可能性を併せて模索したい。つまり支援金額によって広報枠を提供する（掲載する団体を指名できる）といった特典を設け、市民活動に関わる者自らが本プロジェクトの支援者となり、自立した運営を目指すのである。個の力は小さい。が、まとまれば大きな力になるはずである。

3)地元メディアとの連携

FAAVO 静岡の運営会社は静岡新聞社である。静岡新聞の県内での影響力は大きい。クラウドファンディングを通して新聞社とのパイプが出来れば、広報の強い味方になるだろう。（利用するクラウドファンディング運営者は未定。これから打ち合わせる予定）

③障がい者を活用した事業での実績

平成23年度静岡市協働パイロット事業「障がい者を活用した学校ネットパトロール事業～就労移行支援プログラムとしての可能性を探る～」を受託。同事業は平成24年度「ICT夢コンテスト（地域部門）」にて文部科学大臣賞を受賞する。

平成25年度より静岡市の学校ネットパトロール事業（中学校25校（希望校のみ））を受託。障がい者の皆さんには学校掲示板の巡回パトロール（週1回、1時間）で活躍してもらっている。

最後に…

我々の活動分野（高齢者の情報教育）では、様々な情報がデジタル化される中でそれに馴染めない人、ついていけない人が少なくありません。情報弱者にもご配慮をいただき、紙媒体での広報誌製作にご理解をお願い致します。

## 協働パイロット事業 (H27) 見積書

団体名：パソコンわかばくらぶ

企画のタイトル：障がい者が活躍する市民活動広報誌づくり

～クラウドファンディングの利活用を目指して～

項 目	金 額	説 明
広報誌製作料	40,000	@10,000円×4ページ
広報誌印刷代	80,000	@4円×2万部、D版4枚
ポスティング	63,000	@3.5円×1.8万部
通信費	5,000	
雑費	2,000	コピー用紙代 など
事務管理費	10,000	
小 計 A	200,000	
消費税 B=A×0.08	16,000	
合 計 A+B	216,000	

◎実費弁償契約の希望の有無                      有                      無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金 額	主な用途
事業実施前のため 見込みができません		